卒業研究報告書

2021/06/04

R4SA19 富岡真奈希

・個人の作業内容

・今週

私は研究内容を考えた。それを提示してチームメンバーで議論した。

・来週

　テーマ内容が決まったので,本格的に作成をしていきたい。

・現在の工程

今週は英単語だけではなく最も英語の日常会話で必要な発音も勉強することができるようにするため、正しい発音を聞くことができるシステムも導入していきたいという提案をした。

参考するサイトを見つけこれを元に作成をしたいと考えている。パクリをしない「https://iinanosakini2015.com/application/」

・現状の問題点

独自性とテーマは決まっているが,現状作成できるのか心配

・問題点に対する対策

作成方法をネットなどで調べメンバーと協力して作成する

・メンバーの作業内容

熊谷

アプリのデザインを決めるためHTMLのプログラムコードを調べた。

薮田

フィードバックをもとにテーマを修正

英語勉強機能はそのままに音声認識機能を搭載検討

（機能内容、音声認識機能を使い、ユーザーにネイティブに発音してもらい綺麗な英語ならOKをだす）プログラムを構成するにあたっての言語を検討中（アンドロイドスタジオ、パイソンなど）

寺岡

今週は英単語だけではなく最も英語の日常会話で必要な発音も勉強することができるようにするため、正しい発音を聞くことができるシステムも導入していきたいという提案をした。

・全体のスケジュール

　　・メンバーの現在の工程

　　　・一人一人導入するゲーム内容を提示,独自性を研究していた。

・全体の進捗

・来週の予定

・チーム,メンバー

　プログラム作成に何を使うか考える。またメンバーごとに作業内容を決めていき各自作業に取り組む。

・現状の問題点

　・チーム,メンバー

　・今週はスムーズに進行中だがもう少し作業の効率差が必要

　・テーマは決まってきたが問題はこれからアプリの作成をするにあたって、

　　言語を何にするか、これからどうしていくかが未定なため不安がある。

・音声認識機能にたいする知識不足

・チームの作業分担の効率化を測る。

・問題点に対する対策

　・チーム,メンバー

・やはり効率性があまりよくないので作業分担をしっかりと決めたほうがスムーズに進行しそう

・全員が協力してアプリを作成していかないといけないので、緊急事態宣言が終了して学校に通えるようにならなければ難しい。

・音声認識機能を搭載するにあたっての知識をネット等で各自調査する

・作業分担ができていないため、誰が何をするかを明確にすることが必要である。